

やっと眼を覚ましたかい それなのになぜ眼も合わせやしないんだい？
「遅いよ」と怒る君 これでもやれるだけ飛ばしてきたんだよ

心が身体を追い越してきたんだよ

君の髪や瞳だけで胸が痛いよ
同じ時を吸いこんで離したくないよ
遙か昔から知る その声に
生まれてはじめて 何を言えればいい？

君の前前前世から僕は君を探しはじめたよ
そのぶきっちな笑い方をめがけて やってきたんだよ

君が全然全部なくなって チリチリになったって
もう迷わない また 1 から探し始めるさ
むしろ 0 から また宇宙をはじめてみようか

どっから話すかな 君が眠っていた間のストーリー
何億 何光年分の物 語を語りにきたんだよ けどいざその姿この眼に映すと

君も知らぬ君とジャレて 戯れたいよ
君の消えぬ痛みまで愛してみたいよ
銀河何個分かの 果てに出逢えた
その手を壊さずに どう握ったならいい？

君の前前前世から僕は君を探しはじめたよ
その騒がしい声と涙をめがけ やってきたんだよ

そんな革命前夜の僕らを誰が止めるというんだろう
もう迷わない 君のハートに旗を立てるよ
君は僕から諦め方を 奪い取ったの

ぜんぜんぜん せ ぼく きみ さが
前前前世から僕は君を探しはじめたよ
そのぶきっちな笑い方をめがけて やってきたんだよ

きみ ぜんぜんぜん ぶ
君が全然全部なくなって チリチリになったって
もう迷わない また 1 から探し始めるさ
なんこうねん うた くち
何光年でも この歌を口ずさみながら

やっとめをさましたかい それなのになぜめもあわせやしないんだい？
眼 覚 眼 合

「おそいよ」とおこるきみ これでもやれるだけとばしてきたんだよ
遅 怒 君 飛

こころがからだをおいこしてきたんだよ
心 身体 追 越

きみのかみやひとみだけでむねがいたいよ
君 髪 瞳 胸 痛

おなじときをすいこんではなしたくないよ
同 時 吸 離

はるかむかしからしる そのこえに
遥 昔 知 声

うまれてはじめて なにをいえばいい？
生 何 言

きみのぜんぜんぜんせからぼくは きみをさがしはじめたよ
君 前前 前世 僕 君 探

そのぶきっちょなわらいかたをめがけて やってきたんだよ
笑 方

きみがぜんぜんぜんぶなくなって チリチリになったって
君 全然 全部

もうまよわない また 1 からさがしはじめるさ
迷 探

むしろ 0 から またうちゅうをはじめてみようか
宇宙

どっからはなすかな きみがねむっていたあいだのストーリー
話 君 眠 間

なんおく なにこうねんぶんのものがたりをかたりにきたんだよ けどいざその
何億 何 光年 分 物語 語

すがたこのめにうつすと
姿 眼 映

きみもしらぬきみとジャレて たわむれたいよ
君 知 君 戯

きみのきえぬいたみまであいしてみたいよ
君 消 痛 愛

ぎんがなんこぶんかの はてにであえた
銀河 何個 分 果 出逢

そのてをこわさずに どうにぎったならいい？

手 壊 握

きみのぜんぜんぜんせからぼくは きみをさがしはじめたよ

君 前前 前世 僕 君 探

そのさわがしいこえとなみだをめがけ やってきたんだよ

騒 声 涙

そんなかくめいぜんやのぼくらをだれがとめるというんだろう

革命 前夜 僕 誰 止

もうまよわない きみのハートにはたをたてるよ

迷 君 旗 立

きみはぼくからあきらめかたを うばいとったの

君 僕 諦 方 奪 取

ぜんぜんぜんせからぼくは きみをさがしはじめたよ

前前 前世 僕 君 探

そのぶきっちょなわらいかたをめがけて やってきたんだよ

笑 方

きみがぜんぜんぜんぶなくなって チリチリになったって

君 全然 全部

もうまよわない また 1 からさがしはじめるさ

迷 探

なんこうねんでも このうたをくちずさみながら

何 光年 歌 口